

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

# よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.54 2012.2.1.

菊水福祉のまち推進センター運営委員会  
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10  
電話 011-887-7006 FAX011-811-3831  
URL <http://kikusui-net.jp>



## 福まち通信



## お年寄りと子どもの交流会

1月11日（水）午前10時から菊水地区会館の2階ホールにおいて、お年寄りと子どもの交流会が開催されました。積雪の中、参加者はスタッフを含め228名となり、会場はお年寄りや子供たちで溢れ返りました。

菊水地区まちづくりネットワーク会議の鈴木福祉部長の司会で交流会が始まり、冒頭、真鍋会長から挨拶がありました。

### ☆ボーリング・輪投げゲーム



午前中のプログラムはミニボーリングと輪投げゲームで、子どもとお年寄り4人による31チームが参加しました。ルールは、ボールを2度投げて倒したピンの数を競います。子どもは、ピンを慎重に狙ってプレ



イしていました。ピンが多数倒れるとお年寄りや子どもから大きな歓声が上がりました。



輪投げゲームは五つの輪を的に向かって投げ、入った的の点数の合計で競います。子ども達は、なかなか的を入れるのが難しく、的に近づいて投げていましたが、お年寄りは、コツを掴んでいるようで上手でした。お年寄りが子どもにアドバイスしていた光景は微笑ましいものでした。

#### ☆ 手作りコーナー・昔遊びコーナー

ゲームが終わると1階の会議室Aで缶バッチ作り挑戦です。白石区子供会育成連合会の指導員の説明を聞いて、とても上手に缶バッチを作っていました。会議室



Bは、やよい児童会館の先生達の指導によりマシュマロ菓子作りに、多数の子ども達が参加していました。

憩いの間A・Bでは、子ども達が厚別すずらんの会の指導員の手解きにより、お手玉・けん玉・折り紙を楽しんでいました。



#### ☆ ランチタイム

昼食はボランティアの手作りカレーライスです。お代わりは自由です。子供たちは、「美味しかったよ」と話していました。参加者皆さんは、大勢の食事で嬉しそうでした。調理ボランティアの皆様有難うございました。



#### ☆ ゲーム大会表彰式

午前のゲーム大会の表彰式では上位5チームが表彰され、6位以下のチームには参加賞が贈呈されました。



#### ☆ ショータイム



午後からのショータイムは、路地裏演芸を楽しむ会の代表桐越陽一氏外3名による獅子舞・大型紙芝居・七色とうがらし・バナナの叩き売りが披露されました。当会は、子どもの頃に見た大道芸の魅力に心を奪われ、そのすばらしさを伝える活動をしています。



最初は、お正月縁起を呼ぶと言う、獅子舞の登場で幕開きです。獅子舞を踊る女性から子ども達に、獅子に頭を噛まれると頭が

良くなるとの話があり、多数の子供たちが獅子の前に集まり頭を噛んでもらっていました。続いて、大型紙芝居は、昭和初期に子どもから絶大な人気を博した正義の味方黄金バットです。「芝居せんべい」も配られました。続いて、七味とうがらしは、最近ではお目に



かかることが少なくなりました浅草でお馴染みの、七色とうがらし売りの口上に乗せての実演販売、さらには、バナナの叩き売りが威勢よく行われました。



☆最後は、子ども達からお年寄りへの感謝の言葉が述べられました。  
お年寄りと子どもの交流会を見て、核家族化の時代となりお年寄りと子どもが交流を持つことは、改めて重要であると感じました。  
この行事を通じてお年寄りと子どもの親近感が強くなり、交流の輪がもっと大きく広がるといいなと思いました。

## 白石区・地区福まち活動交換会

12月19日（月）、13時30分から白石区民センター3階ホールにおいて、白石区社会福祉協議会主催による「平成23年度白石区・地区福祉のまち推進センター活動交換会」が開催されました。出席者は各地区の福まち運営委員会の他に包括支援センター・介護予防センターの職員、及び関係行政機関職員の約57名でした。



1) 全体研修 「福まち活動における、小地域での助け合い活動について」は、札幌市社会福祉協議会地域活動部地域福祉課長小平正治氏により講演が行われました。

(研修内容の要旨) 福まち活動の始まった平成7年頃の札幌市の高齢化率は0.7%でした。現在は、高齢化率20.5%に増加しています。地域の見守り活動が不十分であると高齢者の孤独死等が危惧される状況となります。その対策として、地域の間人関係を構築し、地域の単位町内会ごとに、早急に見守り活動が実施される取り組みが求められます。

2) 地域の活動実践報告 「地域福まち活動が発信する、地域での取り組む助け合い活動～見守り・安否確認活動について」は、東区北光地区福祉のまち推進センター事務局長掛端真知子氏からの実践活動事例の報告がありました。(活動実践内容の要旨) ①平成11年8月から「見守り活動実施」(そっと見守る見守り活動⇒安否確認)、②平成15年度から「そっと見守る見守り活動」から「声掛け・訪問の見守り活動」(希望者)へ③「福まちマップ」への取り組みとして、福まちマップ作成にかかわる個人情報取扱い研修・全分区(町内会)作成・各分区の福祉推進部会が、マップ上で高齢者の状況、空き家、廃工場等の危険箇所の情報共有し迅速に対応できる。



今後の福まち活動の課題は、少子高齢化の進行を見据えて、安心して安全に暮らせる“福祉のまちづくり”が必要です。1)「見守り活動(安否確認)」の拡充 2)「ふれあい訪問活動」の充実 3)災害時対応の検討を進める なお、各分区福祉推進部会、民児協、自主防災組織等と連携して活動を進めることも重要です。

3) グループ交流(活動情報交換)の課題は、「地域での見守り・安否確認活動をすすめていくために」です。情報交換内容—① 町内会に見守り活動を必要としている高齢者がどこにいるか分からない。② 民生委員と同行訪問により地域の見守り活動が必要な高齢者の実情が分かって勉強になった。③ 高齢者で見守り活動を希望される方の見守り活動をできる方法はないものか。との各意見がありました。

## 子育てサロン「どんぐりころころ」にダンスと人形劇のプレゼント

1月10日（火）、午前10時から菊水地区会館2階ホールにおいて、子育てサロン「どんぐりころころ」の今年最初のサロンを開催しました。

当日は、寒い日でしたが、親子42名が参加しました。

この日の特別ゲストは、菊水やよい児童会館利用者の児童13名によるダンスの発表会です。このダンスグループ名は、ドリームシスターズです。ダンスの曲は、2曲とも

AKB48です。曲

名は、「エブリディカチューシャ」、「フライングゲット」です。

ステージ衣装は、可愛らしくテレビで人気者のAKB48のように、素敵ダンスを披露しました。続いて、同児童会館の児童5名の出演者により、人形劇の「おしくらまんじゅう」、「人間っていいな」が行われました。児童は、一生懸命に人形を操作して心暖まる人形劇になりました。親子は、床に座り楽しそうにダンスや人形劇を観賞していました。



## 札幌市青葉保育園餅つき大会開催

1月12日（木）、午前10時から札幌市青葉保育園において、餅つき大会が開催されました。

開会の10時には、会場に約100人を超す園児が5列並んで座って、餅つき大会が始まるのを心待ちにしていました。地域ボランティア11名の皆さんが協力し、餅つき大会の準備は整い、餅を丸めるテーブルの上には片栗粉の粉が広がり、餅つきが始まるのを今か今かと女性ボランティアが待機していました。

蒸した餅米が運ばれ臼の中に入ると、男性ボランティアは丁寧に

餅米をつぶして、女性ボランティアとの呼吸を合わせ餅

つきが始まりました。園児たちは、一斉に「ヨイショ!」「ヨイショ!」と元気のよい掛け声と歓声が起こりました。女性ボランティアは、つき上がった餅をテーブルの上に置くと、手際よく小粒の餅に仕上げていました。次に、園児達の「餅つきタイム」となり2名ずつ並んで餅つきが始まり、その後園児の皆さんは、自分たちのついたお餅を食べ、楽しい時間を過ごしました。



### 編集後記

これから寒さが厳しく、雪も降り続く日が多くなりますが、雪掻きして腰痛になることがありますので要注意です。特に、屋根の雪下ろしは、危険が伴いますので命綱や2人以上で作業することも心掛けてください。

品川編集員